

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

20

正負両面の影響

科学技術は産業発展や経済成長に重要な役割を果たしてきたが、同時に公害や薬害問題、原子力事故、環境問題など負の影響ももたらした。科学技術と社会の関係が深まる中で注目を集めるのが「ELSI（倫理的、法的、社会的課題）」や「RRI（責任ある研究・イノベーション）」といわれる概念である。

ELSIは、研究開発成果が社会に与える倫理的・法的・社会的課題をあらかじめ検討

に担う企業・産業界、成果を受け取る市民やコミュニティなど多様なステークホルダーが参画し、社会が受容可能な形で科学技術の発展を目指して、適切なガバナンスの下で科学技術を推進すべきとする考え方である。

広がる対象

ELSIやRRIを踏まえた議論は、バイラステークホルダーの参画・議論を通じて多様な価値観を反映するようになる。そのため、早期からは、「共創的科学研究推進」として、多様なステークホルダーによる対話・協働や倫理的・法制的・社会的取組を推進するとされ、社会全体として科学技術に取り組みが期待される。

RRIは、研究開発の直接の当事者である研究者だけでなく、研究開発を推進する政府、社会実装を中心的に担う企業・産業界、成果を受け取る市民やコミュニティなど多様なステークホルダーが参画し、社会が受容可能な形で科学技術の発展を目指して、適切なガバナンスの下で科学技術を推進すべきとする考え方である。

RRIは特に欧州で発展し、欧州最大の研究プログラムであるHorizon2020の実現への貢献や地球技術には持続可能社会やRRIの位置付けは、わが国でのELSI

規模課題への対応など、社会の求める価値の創出が期待されている。そのため、早期からは、「共創的科学研究推進」として、多様なステークホルダーによる対話・協働や倫理的・法制的・社会的取組を推進するとされ、社会全体として科学技術に取り組みが期待される。

ELSIやRRIの理

ELSIやRRIの理

ELSI/RRI 適切な科学発展促す



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センターフェロー(科学技術イノベーション政策ユニット) 吉田 和久
 東京大学大学院農学生命科学研究科修了後、文部科学省入省。基礎研究振興、原子力研究開発などの科学技術政策に従事、15-18年在インド日本国大使館勤務を経て、18年より現職。

第5期科学技術基本計画におけるELSI/RRIに関連する記述

(筆者によるまとめ)

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術と社会との関係を再考 社会からの理解、信頼、支持
社会との関係深化	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーによる対話と協働 「共創」を推進
倫理的・法制的・社会的取組	<ul style="list-style-type: none"> 利害調整を含めた制度的枠組みの構築 倫理ガイドラインなどの策定 テクノロジーアセスメント

(金曜日掲載)